

機関紙アンケートについて

長岡技術科学大学

小松 高行

Questionnaire on the bulletin NEW GLASS

Takayuki Komatsu

Nagaoka University of Technology

今回は機関紙 No. 56 (2000年1号)の読者アンケートの結果について述べて見たい。特に、「特集：世界に展開する日本のガラス企業」に対する結果を紹介したい。機関紙ニューガラスでは、毎号特集記事を載せている。機関紙の発行目的や読者層を考慮してできるだけ実用的な内容と基礎的な内容を交互に取り上げるようにしている。記念すべき2000年第1号の特集が上記の記事である。

アンケートはモニター（会社の方と学生の25名程度）から個々の記事について下記のランクで評価をしていただき、同時に感想や意見を述べてもらっている。今回の特集は六つの記事（総論1、海外進出している企業5）から成っていたが、個々の記事の評価ランクをまとめたのが下記の表である（注：残念ながらアンケートの回収率が低く、今回は6名のみであった）。また、アンケートに述べられた意見の中からいくつかを下記に挙げる。

企業に居ても研究者には気がつきにくい現地法人化の課題が整理されていて参考になった（会社）。産業のグローバル化が進む中でこれからは海外で能力を発揮できる人間が望まれるのだと思った。自分も国際化に対応できる能力を

評価ランク	人数	割合 (%)
大変良かった	3	10
良かった	15	50
普通	9	30
面白くなかった	3	10
よくわからなかった	0	0
読んでいない	0	0

身につけたいと思った（学生）。タイ、ヴェトナムの方の気質が解説されており、文化的背景がわかり、面白かった（会社）。概要だけでは何も伝わってこない（学生）。企業の海外進出に関する情報というこれまでにない切り口が特集で面白かった（学生）。

今回の特集記事についてはおおむね満足していただいたようである。他の記事、「研究最先端：酸素分圧共同測定プロジェクト成果報告」、「やさしいニューガラス講座：ガラスの泡の分析」、「20世紀に名を残すガラス技術：フロート法」などでも同様の評価であった。

現在、機関紙編集委員会は14名の委員で構成され、会員の皆さんが満足するような記事を提供できるよう知恵を出し合っている。前号でもお願いしましたが、読者の中から忌憚のない意見や提案をニューガラスフォーラムあるいは編集委員会にお願いしたい。（編集委員長）

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

TEL 0258-47-9313

FAX 0258-47-9300

E-mail: Komatsu@chem.nagaokawt.ac.jp